

# 楽校<sup>HAYAMA</sup> MANABI をつくろう！

少子高齢化、人口減少時代の中、世界は急速に変化し、予測困難なものとなっています。同時に、AIに代表されるデジタル技術の発展により、今より格段に便利で豊かな社会が現実になろうとしています。このようなめまぐるしい時代において、真に必要な教育とはなんでしょうか。

未来を担う子どもたちは、生まれながらにして多様で、優れた学び手です。自ら「気づき・考え・仮説を立て・行動し・振り返る」そんな社会で通用する課題解決サイクルを、自然と繰り返しながら成長していきます。葉山の「楽校」は、子どもたち一人一人の本来の力を信頼し、できるだけ子どもたちに委ねる 自由な学びを目指します。ワクワクする学びと探究の鍛錬から、自律的・創造的・対話的に行動できる社会に生きる力を育てていきます。

また、「楽校」では、大人こそワクワクし続けていることが大切です。学び続けること、学びを通してつながることのすべてを「楽校」と捉え、社会と個人のウェルビーイングを最大化していきます。

「楽校をつくろう！」

この言葉を、葉山の教育に携わるみんなの合言葉に、ワクワクし続けられる未来を切り拓いていきましょう。

# 楽校<sup>HAYAMA</sup> MANABI をつくろう！



## 未来の楽校を考えるワークショップ

町では、新しい社会、新しい学びに対応するため、施設一体型小中一貫校の整備を目指しています。また、学校では、知識を習得する学びに加えて、自ら考え行動できる力を獲得するため、課題解決型学習に力を入れています。

「未来の楽校を考えるワークショップ」では、「楽校をつくろう！」をテーマに、子どもたちの課題解決学習の成果発表や、こどもや学生、学校運営委員の皆さんが参加するグループワークを通して、葉山の未来の楽校について、楽しく考えたいと思います。

実施企画書(案)

葉山町教育委員会

## ワークショップのねらい

町のねらい 「楽校をつくろう！」を合言葉にした学校の再整備に関する検討の一環

学校のねらい 探究学習サイクルの「まとめ・表現」を、実社会とのつながりを持たせた課題解決学習として実施することで、「自ら考え、行動する学び」が深まるかを検証

## 日時・場所・配信

日時：令和5年11月12日(日) 10:00～12:00

場所：教育総合センター(会議室)

配信：議会・教員に後日限定配信

## ワークショップの参加者

葉山中学校・南郷中学校の生徒会の生徒 各8名(予定)

学校運営協議会のメンバー 保護者を中心に各校2～3名 計16名(予定)

関東学院大学 法学部学生 5名(予定)

合計 37名(予定)

【来賓】町長・町議会議員・教育委員・中学校長・参画する生徒の保護者・担当教員

## ワークショップのフロー

STEP1	あいさつ 5分	教育長より
STEP2	導入 5分	ワークショップの目的、開催に至るまでの背景、プログラムの流れなどの説明
STEP3	情報共有 15分	子供たちが生きる社会、新しい学び、学校施設の再整備の方向性等について知り、未来の楽校についてビジョンを共有する
STEP4	生徒発表 5分×2	「楽校をつくろう!!」のアイデアの発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ アイディアを提案する理由</li> <li>➢ アイディアの具体的な説明</li> <li>➢ アイディアを実現するための課題・実現に必要な施設</li> <li>➢ アイディアを実現するための課題を克服するために自分たちにできること</li> </ul>
STEP5	グループワーク① 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己紹介</li> <li>● 発表を聞いての感想共有</li> </ul>
STEP6	グループワーク② 30分 プレスト:10分 グルーピング:10分 発表用まとめ:10分	STEP3・STEP4 を踏まえ、発表のアイデアをさらによりよく実現するためのアイデア出し <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1グループ7名程度×5グループ</li> <li>● 関東学院大学の学生は各グループに分かれて参加</li> <li>● グループのファシリテーター兼情報補足は、虫賀・山本・沖野・●●●●●●</li> <li>● グループの記録(まとめ)は、植草・川田・小野・小林・●●</li> </ul>
STEP7	グループ発表 3分×5	アイデアの発表
STEP8	振り返り 10分	アンケート(即時、回収)
STEP9	最後に 5分×2	アンケートを紹介しながらあいさつ(議長・町長)

## 当日アンケートの設問

このイベントに参加してみたいかがでしたか
「楽校をつくろう!!」という気持ちは高まりましたか
未来の楽校に対してどのくらいワクワクしますか
今後もこのような企画に参加してみたいと思いましたが
社会の問題を自分事に感じた瞬間はありましたか
その他、ご意見ご感想をお聞かせください → 別アンケートで

\*PBL(課題解決学習)の充実に資するアウトプットとしての効果検証は、後日、生徒・教員に聞き取りする

## ワークショップに向けた事前学習等

〈生徒〉以下の学習を教員と相談のうえ実施予定

気づき	今の学校・未来の楽校に問いや疑問・思い・願いをもとう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まずは学校の中を歩いてみよう、気づいたことを写真やメモに残してみよう、写真やメモをみんなでグルーピングしてみよう(問題の把握)</li> <li>● 教育委員会の人の話を聞いてみよう、思ったこと感じたことを話し合ってみよう(理想への憧れ)</li> </ul>
考え	問題を整理・分析してみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気づいたことをもとに分析シートを作成し、特に解決したい問題または特に目指したい目標をみんなで相談して決定しよう</li> <li>● 決定した問題または目標について、原因(理由)や背景を調べてみよう、まずは調べ方をみんなで相談してみよう</li> <li>● 実際に調べてみよう</li> </ul>
仮説を立て	問題を解決する方法を考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題を解決する方法または目標を達成する方法についてみんなで考えてみよう</li> <li>● 実現に向けた課題、実現のしやすさを確かめる方法、今自分たちにできることなどについても併せて考えてみよう</li> </ul>
行動し	今回はワークショップに参加しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップで「気づき」「考え」「仮説を立て」について発表するため、プレゼンテーション資料を作成しよう</li> <li>● プレゼンテーションの練習をしよう</li> </ul>
振り返る	課題解決サイクルが生徒会活動に活かせるか考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「気づき」「考え」「仮説を立て」「行動し」の一連のサイクルを通して得た新しい「気づき」を、今後の生徒会活動に活かせるか考えてみよう</li> </ul>

〈関東学院大学〉

1回	対象となる学生に対し、ワークショップの目的、開催に至るまでの背景、プログラムの流れ、社会経済の見通し、学校施設の再整備の方向性などを、教育委員会の職員がインプット
----	---

〈学校運営協議会〉

5/9	葉山中学校区合同学校運営協議会	新しい社会と学びについて報告
6/13	南郷中学校区合同学校運営協議会	新しい社会と学びについて報告

## 事業費

参加者(生徒を除く)への謝礼等 2,000円/1人